

マンスリーレポート 当資料は17枚組です。

新光ハイインカム・ポートフォリオ・ファンド(毎月決算/目標払出し型)

設定・運用は新光投信

設定日 2011年10月7日  
 決算日 原則 毎月7日

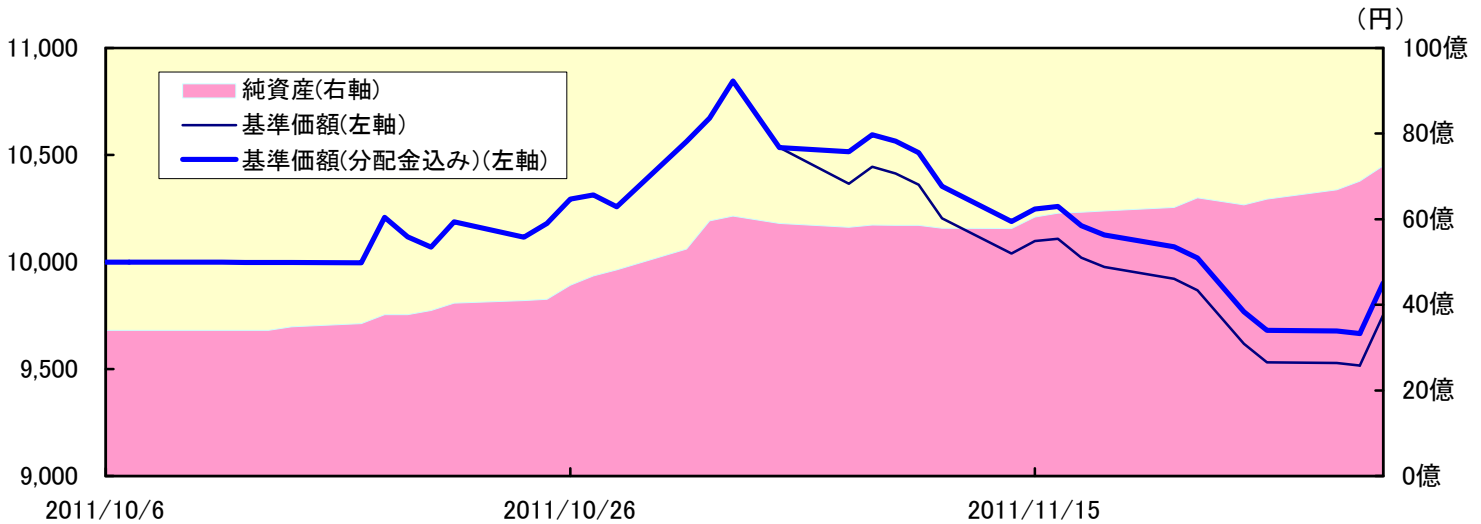
【フリーダイヤル】0120-104-694  
<http://www.shinkotoushin.co.jp/>

2011年11月30日現在

豪ドル・6カ月更新コース

基準価額の推移(2011年10月7日～2011年11月30日)

(設定日前日を10,000としております)



・基準価額(分配金込み)は、税引前分配金を単純に合算して計算したものを表示しています。

基準価額

	11月末	10月末
当ファンド	9,752円	10,563円

11月の基準価額の高値・安値

	高値 (日付)	安値 (日付)
当ファンド	10,846円 (2日)	9,516円 (29日)

要因分析(概算値)

内訳	直近1ヵ月
	2011年11月1日から 2011年11月30日まで
実質的な投資資産の価格変動	▲ 193円
為替レートの変動	▲ 443円
信託報酬等	▲ 11円
その他の要因	▲ 14円
分配金	▲ 150円
合計	▲ 811円

資産構成

内訳	11月末	10月末
国内公社債	96.3 %	97.1 %
その他資産	3.7 %	2.9 %
純資産	7,248 百万円	5,303 百万円
元本	7,432 百万円	5,020 百万円

分配金の推移(最近5期分) ※分配金は税引前の金額。

1期	—	—	—	—
2011/11/7	—	—	—	—
150円	—	—	—	—

分配金実績 ※分配金は税引前の金額。

2011年分	—	—	—	—	設定来合計
150円	—	—	—	—	150円

基準価額の騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
▲6.3%	—%	—%	—%	—%	—%	▲1.0%

・当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を単純に合算して計算したものを表示しています。  
 ・日々の基準価額は日経新聞朝刊に掲載されています。  
 ・基準価額は、当ファンドの信託報酬控除後の価額です。  
 ・要因分析は概算値であり、あくまで傾向を知るための目安としてお考えください。将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。なお、要因分析の数値は1万円当たりの金額です。各項目ごとに四捨五入しておりますので、合計と合わない場合があります。  
 ・要因分析の項目のうち、「為替レートの変動」は期間中の直物為替レートの変動率を基に算出したもので、指数を構成する外国籍ファンドの評価に使用されている為替レートから計算される数値とは異なる場合があります。「その他の要因」とは、売買コストなどを指します。また、「実質的な投資資産の価格変動」は、シンコウ・グローバル・ハイインカム・ファンド・インデックス(豪ドル)の変動率から上記直物為替レートの変動率を差し引いた値を基に算出しております。

※当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。  
 ※当資料に掲載した図、表、数値、コメント等はすべて過去のものであり、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。  
 ※当資料は信頼できる情報に基づき作成していますが、その内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。  
 ※投資信託は、リスクを含む商品(外貨建資産に投資する場合は為替リスクもあります。)であり、元本の保証はありません。  
 ※取得申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)等の書面をあらかじめまたは同時にお渡しますので、必ずお受け取りになり、詳細をよくお読みいただいたうえ、投資に関してご自身でご判断ください。

マンスリーレポート 当資料は17枚組です。

新光ハイインカム・ポートフォリオ・ファンド(毎月決算/目標払出し型)

設定・運用は新光投信

設定日 2011年10月7日  
 決算日 原則 毎月7日

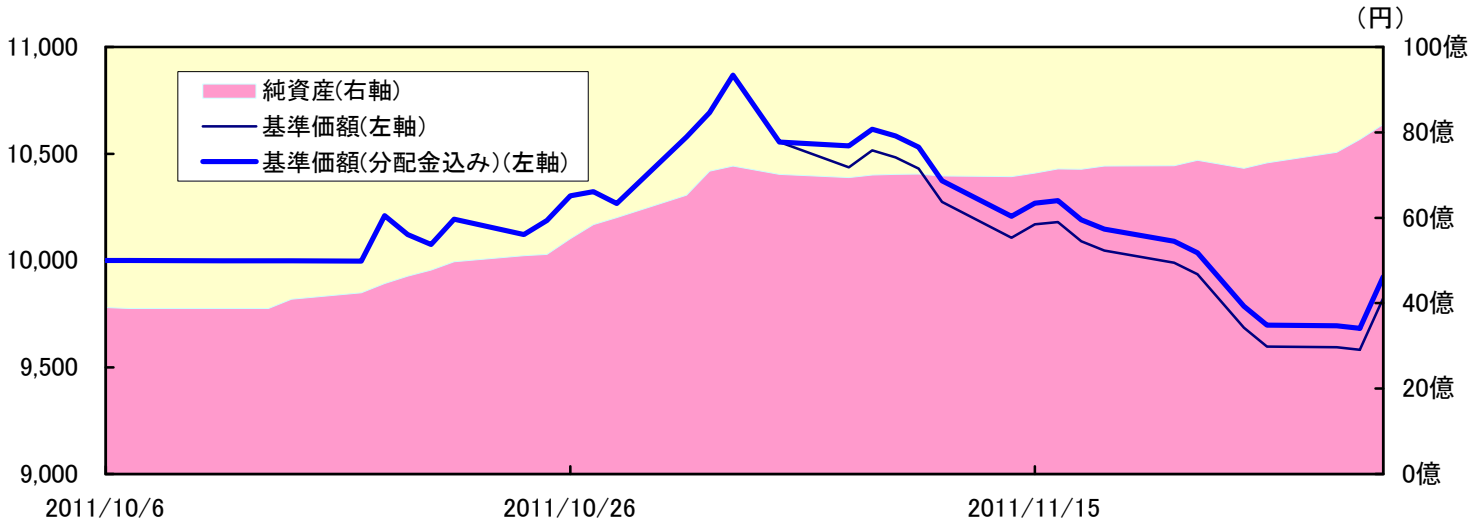
【フリーダイヤル】0120-104-694  
<http://www.shinkotoushin.co.jp/>

2011年11月30日現在

豪ドル・1年更新コース

基準価額の推移(2011年10月7日～2011年11月30日)

(設定日前日を10,000としております)



・基準価額(分配金込み)は、税引前分配金を単純に合算して計算したものを表示しています。

基準価額

	11月末	10月末
当ファンド	9,823円	10,579円

11月の基準価額の高値・安値

	高値 (日付)	安値 (日付)
当ファンド	10,868円 (2日)	9,582円 (29日)

要因分析(概算値)

内訳	直近1ヵ月
	2011年11月1日から 2011年11月30日まで
実質的な投資資産の価格変動	▲ 195円
為替レートの変動	▲ 445円
信託報酬等	▲ 11円
その他の要因	▲ 5円
分配金	▲ 100円
合計	▲ 756円

資産構成

内訳	11月末	10月末
国内公社債	97.0%	97.9%
その他資産	3.0%	2.1%
純資産	8,185 百万円	6,532 百万円
元本	8,332 百万円	6,175 百万円

分配金の推移(最近5期分) ※分配金は税引前の金額。

1期	—	—	—	—
2011/11/7	—	—	—	—
100円	—	—	—	—

分配金実績 ※分配金は税引前の金額。

2011年分	—	—	—	—	設定来合計
100円	—	—	—	—	100円

基準価額の騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
▲6.2%	—%	—%	—%	—%	—%	▲0.8%

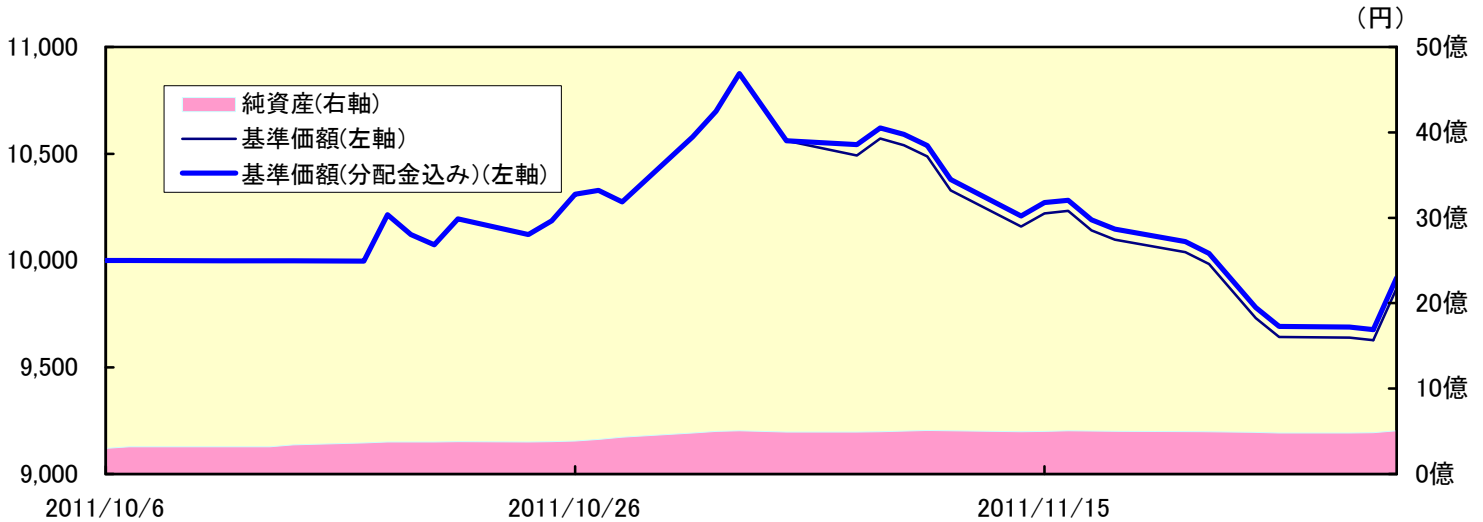
・当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を単純に合算して計算したものを表示しています。  
 ・日々の基準価額は日経新聞朝刊に掲載されています。  
 ・基準価額は、当ファンドの信託報酬控除後の価額です。  
 ・要因分析は概算値であり、あくまで傾向を知るための目安としてお考えください。将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。なお、要因分析の数値は1万円当たりの金額です。各項目ごとに四捨五入しておりますので、合計と合わない場合があります。  
 ・要因分析の項目のうち、「為替レートの変動」は期間中の直物為替レートの変動率を基に算出したもので、指数を構成する外国籍ファンドの評価に使用されている為替レートから計算される数値とは異なる場合があります。「その他の要因」とは、売買コストなどを指します。また、「実質的な投資資産の価格変動」は、シンコウ・グローバル・ハイインカム・ファンド・インデックス(豪ドル)の変動率から上記直物為替レートの変動率を差し引いた値を基に算出しております。

※当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。  
 ※当資料に掲載した図、表、数値、コメント等はすべて過去のものであり、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。  
 ※当資料は信頼できる情報に基づき作成していますが、その内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。  
 ※投資信託は、リスクを含む商品(外貨建資産に投資する場合は為替リスクもあります。)であり、元本の保証はありません。  
 ※取得申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)等の書面をあらかじめまたは同時にお渡しますので、必ずお受け取りになり、詳細をよくお読みいただいたうえ、投資に関してご自身でご判断ください。

豪ドル・2年更新コース

基準価額の推移(2011年10月7日～2011年11月30日)

(設定日前日を10,000としております)



・基準価額(分配金込み)は、税引前分配金を単純に合算して計算したものを表示しています。

基準価額

	11月末	10月末
当ファンド	9,869円	10,578円

11月の基準価額の高値・安値

	高値 (日付)	安値 (日付)
当ファンド	10,875円 (2日)	9,626円 (29日)

要因分析(概算値)

内訳	直近1ヵ月
	2011年11月1日から 2011年11月30日まで
実質的な投資資産の価格変動	▲ 197円
為替レートの変動	▲ 443円
信託報酬等	▲ 11円
その他の要因	▲ 8円
分配金	▲ 50円
合計	▲ 709円

資産構成

内訳	11月末	10月末
国内公社債	97.8 %	98.3 %
その他資産	2.2 %	1.7 %
純資産	505 百万円	481 百万円
元本	512 百万円	455 百万円

分配金の推移(最近5期分) ※分配金は税引前の金額。

1期	—	—	—	—
2011/11/7	—	—	—	—
50円	—	—	—	—

分配金実績 ※分配金は税引前の金額。

2011年分	—	—	—	—	設定来合計
50円	—	—	—	—	50円

基準価額の騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
▲6.2%	—%	—%	—%	—%	—%	▲0.8%

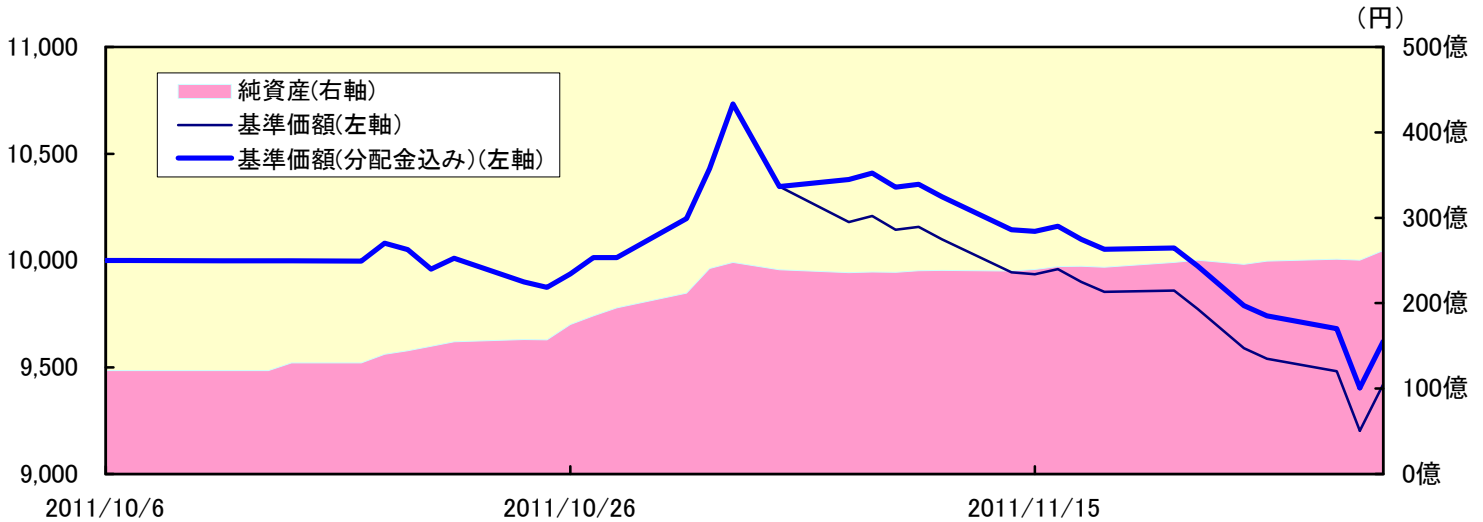
・当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を単純に合算して計算したものを表示しています。  
 ・日々の基準価額は日経新聞朝刊に掲載されています。  
 ・基準価額は、当ファンドの信託報酬控除後の価額です。  
 ・要因分析は概算値であり、あくまで傾向を知るための目安としてお考えください。将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。なお、要因分析の数値は1万円当たりの金額です。各項目ごとに四捨五入しておりますので、合計と合わない場合があります。  
 ・要因分析の項目のうち、「為替レートの変動」は期間中の直物為替レートの変動率を基に算出したもので、指数を構成する外国籍ファンドの評価に使用されている為替レートから計算される数値とは異なる場合があります。「その他の要因」とは、売買コストなどを指します。また、「実質的な投資資産の価格変動」は、シンコウ・グローバル・ハイインカム・ファンド・インデックス(豪ドル)の変動率から上記直物為替レートの変動率を差し引いた値を基に算出しております。

※当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。  
 ※当資料に掲載した図、表、数値、コメント等はすべて過去のものであり、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。  
 ※当資料は信頼できる情報に基づき作成していますが、その内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。  
 ※投資信託は、リスクを含む商品(外貨建資産に投資する場合は為替リスクもあります。)であり、元本の保証はありません。  
 ※取得申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)等の書面をあらかじめまたは同時にお渡しますので、必ずお受け取りになり、詳細をよくお読みいただいたうえ、投資に関してご自身でご判断ください。

ブラジルリアル・6か月更新コース

基準価額の推移(2011年10月7日～2011年11月30日)

(設定日前日を10,000としております)



・基準価額(分配金込み)は、税引前分配金を単純に合算して計算したものを表示しています。

基準価額

	11月末	10月末
当ファンド	9,420円	10,197円

11月の基準価額の高値・安値

	高値 (日付)	安値 (日付)
当ファンド	10,733円 (2日)	9,203円 (29日)

要因分析(概算値)

内訳	直近1ヵ月
	2011年11月1日から 2011年11月30日まで
実質的な投資資産の価格変動	▲ 132円
為替レートの変動	▲ 412円
信託報酬等	▲ 11円
その他の要因	▲ 23円
分配金	▲ 200円
合計	▲ 777円

資産構成

内訳	11月末	10月末
国内公社債	95.6 %	95.9 %
その他資産	4.4 %	4.1 %
純資産	26,158 百万円	21,181 百万円
元本	27,770 百万円	20,772 百万円

分配金の推移(最近5期分) ※分配金は税引前の金額。

1期	—	—	—	—
2011/11/7	—	—	—	—
200円	—	—	—	—

分配金実績 ※分配金は税引前の金額。

2011年分	—	—	—	—	設定来合計
200円	—	—	—	—	200円

基準価額の騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
▲5.7%	—%	—%	—%	—%	—%	▲3.8%

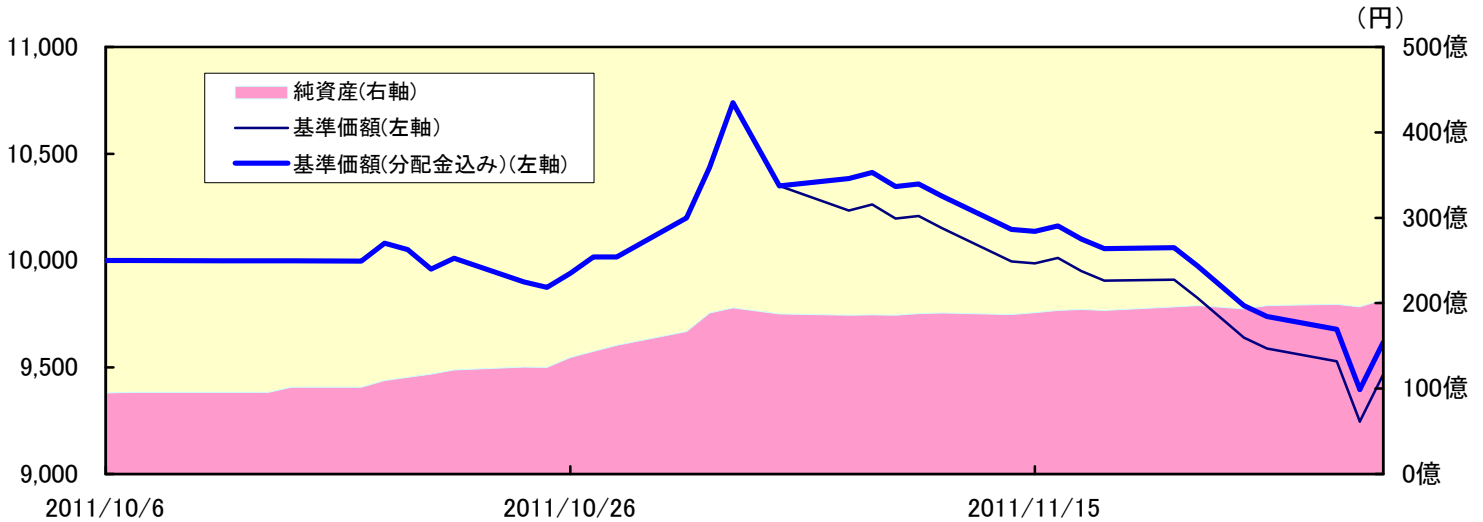
・当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を単純に合算して計算したものを表示しています。  
 ・日々の基準価額は日経新聞朝刊に掲載されています。  
 ・基準価額は、当ファンドの信託報酬控除後の価額です。  
 ・要因分析は概算値であり、あくまで傾向を知るための目安としてお考えください。将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。なお、要因分析の数値は1万口当たりの金額です。各項目ごとに四捨五入しておりますので、合計と合わない場合があります。  
 ・要因分析の項目のうち、「為替レートの変動」は期間中の直物為替レートの変動率を基に算出したもので、指数を構成する外国籍ファンドの評価に使用されている為替レートから計算される数値とは異なる場合があります。「その他の要因」とは、売買コストなどを指します。また、「実質的な投資資産の価格変動」は、シンコウ・グローバル・ハイインカム・ファンド・インデックス(ブラジルリアル)の変動率から上記直物為替レートの変動率を差し引いた値を基に算出しております。

※当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。  
 ※当資料に掲載した図、表、数値、コメント等はすべて過去のものであり、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。  
 ※当資料は信頼できる情報に基づき作成していますが、その内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。  
 ※投資信託は、リスクを含む商品(外貨建資産に投資する場合は為替リスクもあります。)であり、元本の保証はありません。  
 ※取得申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)等の書面をあらかじめまたは同時にお渡しますので、必ずお受け取りになり、詳細をよくお読みいただいたうえ、投資に関してご自身でご判断ください。

ブラジルリアル・1年更新コース

基準価額の推移(2011年10月7日～2011年11月30日)

(設定日前日を10,000としております)



・基準価額(分配金込み)は、税引前分配金を単純に合算して計算したものを表示しています。

基準価額

	11月末	10月末
当ファンド	9,466円	10,199円

11月の基準価額の高値・安値

	高値 (日付)	安値 (日付)
当ファンド	10,739円 (2日)	9,246円 (29日)

要因分析(概算値)

内訳	直近1ヵ月
	2011年11月1日から 2011年11月30日まで
実質的な投資資産の価格変動	▲ 133円
為替レートの変動	▲ 415円
信託報酬等	▲ 11円
その他の要因	▲ 25円
分配金	▲ 150円
合計	▲ 733円

資産構成

内訳	11月末	10月末
国内公社債	96.4 %	96.5 %
その他資産	3.6 %	3.5 %
純資産	20,408 百万円	16,661 百万円
元本	21,560 百万円	16,336 百万円

分配金の推移(最近5期分)※分配金は税引前の金額。

1期	—	—	—	—
2011/11/7	—	—	—	—
150円	—	—	—	—

分配金実績 ※分配金は税引前の金額。

2011年分	—	—	—	—	設定来合計
150円	—	—	—	—	150円

基準価額の騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
▲5.7%	—%	—%	—%	—%	—%	▲3.8%

・当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を単純に合算して計算したものを表示しています。

・日々の基準価額は日経新聞朝刊に掲載されています。

・基準価額は、当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

・要因分析は概算値であり、あくまで傾向を知るための目安としてお考えください。将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。なお、要因分析の数値は1万円当たりの金額です。各項目ごとに四捨五入しておりますので、合計と合わない場合があります。

・要因分析の項目のうち、「為替レートの変動」は期間中の直物為替レートの変動率を基に算出したもので、指数を構成する外国籍ファンドの評価に使用されている為替レートから計算される数値とは異なる場合があります。「その他の要因」とは、売買コストなどを指します。また、「実質的な投資資産の価格変動」は、シンコウ・グローバル・ハイインカム・ファンド・インデックス(ブラジルリアル)の変動率から上記直物為替レートの変動率を差し引いた値を基に算出しております。

※当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。  
※当資料に掲載した図、表、数値、コメント等はすべて過去のものであり、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。  
※当資料は信頼できる情報に基づき作成していますが、その内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。  
※投資信託は、リスクを含む商品(外貨建資産に投資する場合は為替リスクもあります。)であり、元本の保証はありません。  
※取得申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)等の書面をあらかじめまたは同時にお渡しますので、必ずお受け取りになり、詳細をよくお読みいただいたうえ、投資に関してご自身でご判断ください。

マンスリーレポート 当資料は17枚組です。

新光ハイインカム・ポートフォリオ・ファンド(毎月決算/目標払出し型)

設定・運用は新光投信

設定日 2011年10月7日  
決算日 原則 毎月7日

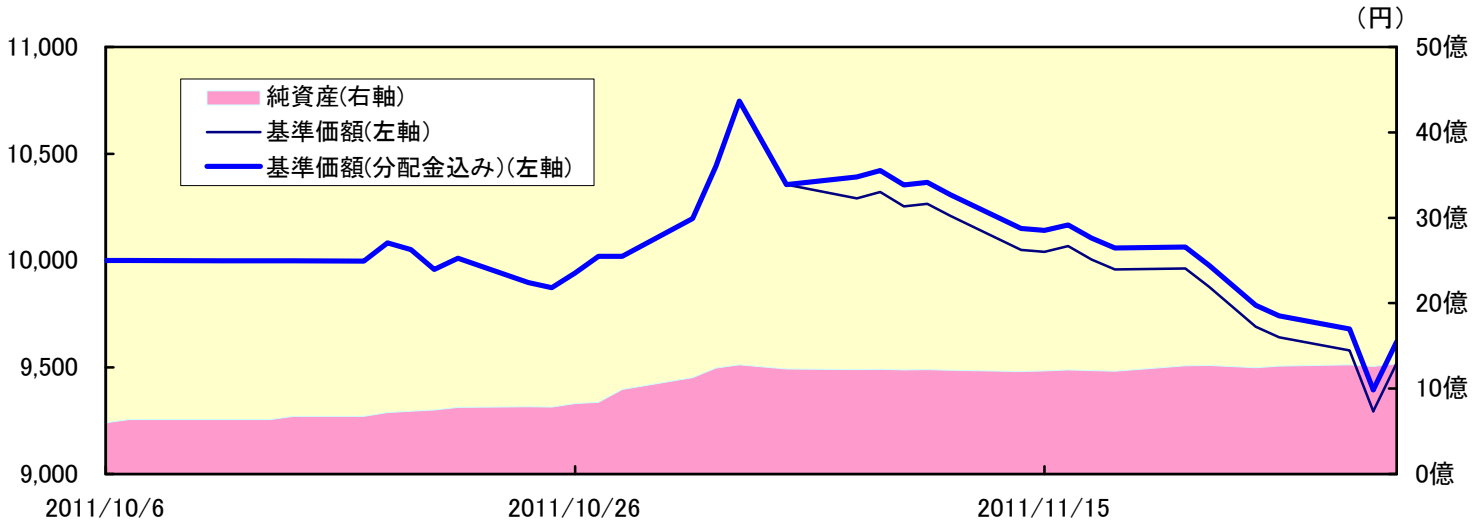
【フリーダイヤル】0120-104-694  
http://www.shinkotoushin.co.jp/

2011年11月30日現在

ブラジルリアル・2年更新コース

基準価額の推移(2011年10月7日～2011年11月30日)

(設定日前日を10,000としております)



・基準価額(分配金込み)は、税引前分配金を単純に合算して計算したものを表示しています。

基準価額

	11月末	10月末
当ファンド	9,519円	10,197円

11月の基準価額の高値・安値

	高値 (日付)	安値 (日付)
当ファンド	10,747円 (2日)	9,294円 (29日)

要因分析(概算値)

内訳	直近1ヵ月
	2011年11月1日から 2011年11月30日まで
実質的な投資資産の価格変動	▲ 134円
為替レートの変動	▲ 418円
信託報酬等	▲ 11円
その他の要因	▲ 15円
分配金	▲ 100円
合計	▲ 678円

資産構成

内訳	11月末	10月末
国内公社債	96.8%	96.9%
その他資産	3.2%	3.1%
純資産	1,290 百万円	1,128 百万円
元本	1,356 百万円	1,106 百万円

分配金の推移(最近5期分) ※分配金は税引前の金額。

1期	—	—	—	—
2011/11/7	—	—	—	—
100円	—	—	—	—

分配金実績 ※分配金は税引前の金額。

2011年分	—	—	—	—	設定来合計
100円	—	—	—	—	100円

基準価額の騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
▲5.7%	—%	—%	—%	—%	—%	▲3.8%

・当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を単純に合算して計算したものを表示しています。  
 ・日々の基準価額は日経新聞朝刊に掲載されています。  
 ・基準価額は、当ファンドの信託報酬控除後の価額です。  
 ・要因分析は概算値であり、あくまで傾向を知るための目安としてお考えください。将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。なお、要因分析の数値は1万円当たりの金額です。各項目ごとに四捨五入しておりますので、合計と合わない場合があります。  
 ・要因分析の項目のうち、「為替レートの変動」は期間中の直物為替レートの変動率を基に算出したもので、指数を構成する外国籍ファンドの評価に使用されている為替レートから計算される数値とは異なる場合があります。「その他の要因」とは、売買コストなどを指します。また、「実質的な投資資産の価格変動」は、シンコウ・グローバル・ハイインカム・ファンド・インデックス(ブラジルリアル)の変動率から上記直物為替レートの変動率を差し引いた値を基に算出しております。

※当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。  
 ※当資料に掲載した図、表、数値、コメント等はすべて過去のものであり、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。  
 ※当資料は信頼できる情報に基づき作成していますが、その内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。  
 ※投資信託は、リスクを含む商品(外貨建資産に投資する場合は為替リスクもあります。)であり、元本の保証はありません。  
 ※取得申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)等の書面をあらかじめまたは同時にお渡しますので、必ずお受け取りになり、詳細をよくお読みいただいたうえ、投資に関してご自身でご判断ください。

2011年11月30日現在

組入債券

コース名	銘柄名	11月末		
		発行体名	発行体の信用格付け	
			S&P	ムーディーズ
豪ドル・6か月更新コース	シンコウ・グローバル・ハイインカム・ファンド・インデックス (豪ドル)連動債A	UBS銀行ロンドン支店	A	Aa3
豪ドル・1年更新コース	シンコウ・グローバル・ハイインカム・ファンド・インデックス (豪ドル)連動債B			
豪ドル・2年更新コース	シンコウ・グローバル・ハイインカム・ファンド・インデックス (豪ドル)連動債C			
ブラジルリアル・6か月更新コース	シンコウ・グローバル・ハイインカム・ファンド・インデックス (ブラジルリアル)連動債A			
ブラジルリアル・1年更新コース	シンコウ・グローバル・ハイインカム・ファンド・インデックス (ブラジルリアル)連動債B			
ブラジルリアル・2年更新コース	シンコウ・グローバル・ハイインカム・ファンド・インデックス (ブラジルリアル)連動債C			

・上記の「発行体の信用格付け」を付与しているS&P(スタンダード・amp;・プアーズ・レーティングズ・サービス)ならびにムーディーズ(ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク)は、金融商品取引法に基づく信用格付業者の登録を受けておりません。後記の「無登録格付に関する説明書」をご覧ください。

コメント

・あくまで作成時点での見解等を開示したもので、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。

◇海外株式市場◇  
(先進国株式市場)

米国では、金融緩和期待が高まったことに加え、発表された経済統計が市場予想を上回ったことや、好調な企業業績を背景に、米国経済の減速懸念が後退したことから、10月の米国株式市場は堅調に推移しました。しかし、11月に入ると欧州財政問題の拡大が米国金融機関に悪影響を及ぼすとの見方が拡がったことや財政赤字削減を巡る協議が難航したことなどから、米国株式市場は下落基調となりました。11月下旬から月末にかけては、年末商戦の滑り出しが好調となったことや日米欧の中央銀行によるドル資金供給の協調拡充策が合意されたことなどを受け株価が反発したため、11月月間では小幅な下落に留まりました。

欧州では、ユーロ圏域内各国の議会がEFSF(欧州金融安定基金)の機能拡充案を承認したことで、ギリシャを中心とした欧州財政問題が進展するとの見方が拡がりました。10月下旬には、EU(欧州連合)首脳会議において、欧州財政問題の解決に向けた包括的対策が合意されたことが好感され、欧州株式市場は上昇しました。しかし、11月に入りギリシャ首相が包括的支援策の是非を問う国民投票を実施すると発表したため、欧州財政問題が後退するとの懸念が高まりました。その後、国民投票の実施は撤回されましたが、欧州財政問題の解決に対する懸念が高まり、イタリアやスペインの国債利回りが急上昇したことなどが材料視されました。また、相対的に財政状況が健全とされるドイツ国債の入札が不調になったことなどが投資家心理を悪化させ、欧州株式市場は軟調に推移しました。

(新興国株式市場)

原油などの資源価格が上昇したことや、ブラジル中央銀行が政策金利を引き下げたことなどが好感され、10月の新興国株式市場は上昇する展開となりました。

インドの2011年7-9月期実質GDP(国内総生産)成長率が鈍化したことや、中国の不動産価格下落が鮮明となったことなどから、11月の新興国株式市場は下落する展開となりました。

◇海外債券市場◇  
(先進国債券市場)

米国債券市場では、好調な経済指標の発表が続いたことなどを背景に景気回復期待が高まり、中・長期金利が10月を通じて上昇(価格は下落)傾向となりました。11月以降は、世界的に株式市場が軟調となったこ

とや、欧州財政問題に対する警戒感が強まったことなどから、米国国債が選好され中・長期金利が低下(価格は上昇)傾向となりました。

欧州債券市場においても、欧州財政問題の進展を受け、国債利回りは10月を通じて上昇(価格は下落)傾向となりました。11月以降は、欧州財政問題を背景に域内各国の国債入札が不調となったことで、国債利回りは長期金利を中心に上昇(価格は下落)傾向となりました。(新興国債券市場)

欧州財政問題の進展を背景に投資家がリスク志向を強めたことで、リスク資産を買い戻す動きが強まりました。10月の新興国債券市場は堅調に推移し、利回りが低下(価格は上昇)傾向となりました。しかし、11月に入ると、欧州財政問題への警戒感から投資家が一転してリスク回避志向を強めたことで、リスク資産を敬遠する動きが強まりました。新興国債券市場は軟調に推移し、利回りがやや上昇(価格は下落)傾向となりました。

◇外国為替市場◇

10月の外国為替市場では、欧州財政問題の進展を背景に、ユーロが米ドルや円といった主要通貨に対して強含みしました。10月末には、日本政府・日本銀行が円売り・米ドル買いの為替介入を実施したことで、円が下落する展開となりました。また、欧州財政問題を巡る警戒感が後退したこととリスク回避姿勢が和らぎ、豪ドルやブラジルリアルといった高金利通貨や新興国通貨が対円で上昇し円安傾向が強まりました。

11月の外国為替市場では、欧州財政問題が長期化する中、非ユーロ圏であるハンガリーがEUとIMF(国際通貨基金)に金融支援を求めたことで欧州財政問題が更に拡大するとの見方が強まったことなどから、ユーロが米ドルや日本円といった主要通貨に対して弱含みしました。米ドル/円相場は11月月間で、ほぼ横這いでの推移となりました。

◇運用経過◇

設定解約による資金動向にあわせ、各コースとも指数連動債を買い付け、指数連動債の組入比率を高位に保ちました。

11月7日に第1期決算を迎え、分配金は豪ドル・6か月更新コースが150円、豪ドル・1年決算コースが100円、豪ドル・2年更新コースが50円、ブラジルリアル・6か月更新コースが200円、ブラジルリアル・1年更新コースが150円、ブラジルリアル・2年更新コースが100円をお支払いしました。

※当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。  
 ※当資料に掲載した図、表、数値、コメント等はすべて過去のものであり、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。  
 ※当資料は信頼できる情報に基づき作成していますが、その内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。※投資信託は、リスクを含む商品(外貨建資産に投資する場合は為替リスクもあります。)であり、元本の保証はありません。※取得申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)等の書面をあらかじめまたは同時にお渡しますので、必ずお受け取りになり、詳細をよくお読みいただいたうえで、投資に関してご自身でご判断ください。

2011年11月30日現在

各コースの目標払出し額(分配金)

豪ドル・6カ月更新コース	1万口当たり150円程度(2012年4月まで)
豪ドル・1年更新コース	1万口当たり100円程度(2012年10月まで)
豪ドル・2年更新コース	1万口当たり50円程度(2013年10月まで)
ブラジルリアル・6カ月更新コース	1万口当たり200円程度(2012年4月まで)
ブラジルリアル・1年更新コース	1万口当たり150円程度(2012年10月まで)
ブラジルリアル・2年更新コース	1万口当たり100円程度(2013年10月まで)

- ・ 決算日は毎月7日(休業日の場合は翌営業日)です。
- ・ 上記の額は、各コースが投資する指数連動債から受け取る利金に応じた額を基に委託会社が設定した所定の期間における課税前の目標払出し額(分配金)であり、投資収益とは直接関係無く決定されるものです。したがって、分配金の一部または全部が実質的に投資元本の払い戻しにより充当されることがあります。
- ・ なお、目標払出し額(分配金)は予想に基づくものであり、掲載した額のお支払いを保証するものではありません。
- ・ 上記以降の目標払出し額(分配金)については、販売会社または委託会社にお問い合わせください。

- ・ 分配金額は分配方針に基づき、決算日に委託会社が決定します。したがって、実際の分配金額は目標払出し額を下回る可能性があります。
- ・ また、各コースが投資する指数連動債はUBS銀行ロンドン支店が発行体であるため、UBS銀行の信用力が著しく低下した場合あるいは倒産した場合には、利金が支払われなくなるため、分配金額が予定額を大幅に下回ったり、分配金をお支払いできない可能性があります。

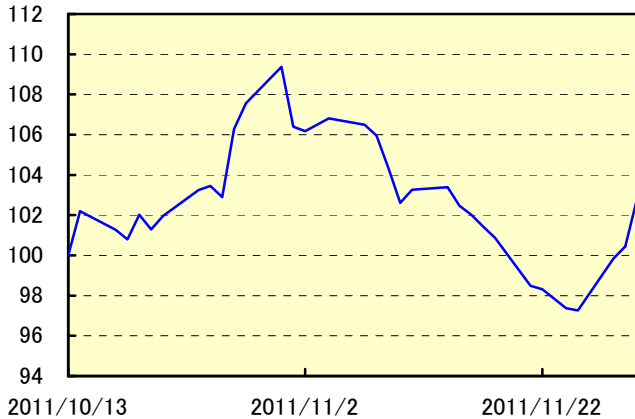
目標払出し額(分配金)は、あくまでも払い出す分配金の目標額の目安を示すものであり、各コースにおいて一定の利回りを保証するものではありません。  
また、分配金の水準は、各コースの収益率を示すものではありません。

※当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。  
※当資料に掲載した図、表、数値、コメント等はすべて過去のものであり、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。  
※当資料は信頼できる情報に基づき作成していますが、その内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。 ※投資信託は、リスクを含む商品(外貨建資産に投資する場合は為替リスクもあります。)であり、元本の保証はありません。 ※取得申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)等の書面をあらかじめまたは同時にお渡しますので、必ずお受け取りになり、詳細をよくお読みいただいたうえ、投資に関してご自身でご判断ください。

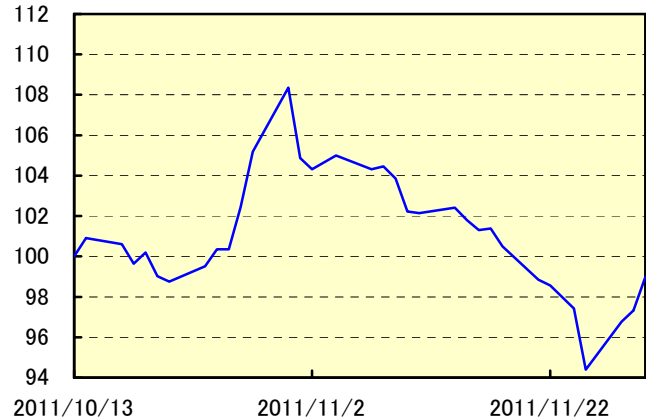
2011年11月30日現在

《ご参考》

シンコウ・グローバル・ハイインカム・ファンド・インデックス(豪ドル)の推移



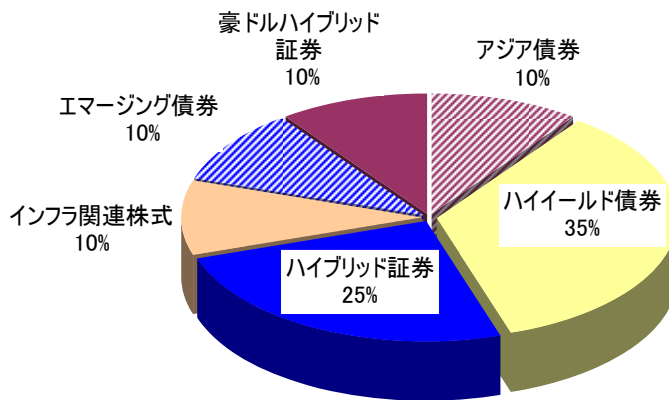
シンコウ・グローバル・ハイインカム・ファンド・インデックス(ブラジルレアル)の推移



出所:ブルームバーグ

※過去の実績を示したものであり、今後変更される場合があります。また、将来の動向や各コースの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

シンコウ・グローバル・ハイインカム・ファンド・インデックスの基本構成比率



※原則として基本構成比率は、6か月毎に見直します。  
※投資対象ファンドは今後、変更される場合があります。

＜インデックスを構成する外国籍ファンド＞

- アジア債券 : ユナイテッド・アジア・ボンド・マルチカレンシー・ファンド
- ハイイールド債券 : グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクション
- ハイブリッド証券 : GSグローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・FX・サブ・トラスト
- 豪ドルハイブリッド証券 : GSオーストラリア・エンハンスト・インカム・ファンドⅡ
- インフラ関連株式 : シンコウ・グローバル・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド
- エマージング債券 : フランクリン・テンプレトン・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンド

シンコウ・グローバル・ハイインカム・ファンド・インデックスとは

世界の証券市場に投資してインカム・ゲインの獲得を目指す複数の外国籍ファンドと豪ドルまたはブラジルレアルを買い予約する為替取引の総合収益を反映する指数(円建て)です。新光投信がインデックス・スポンサーとして指数を構成する外国籍ファンドとその比率を決定し、UBSロンドン支店が指数の算出・公表を行います。

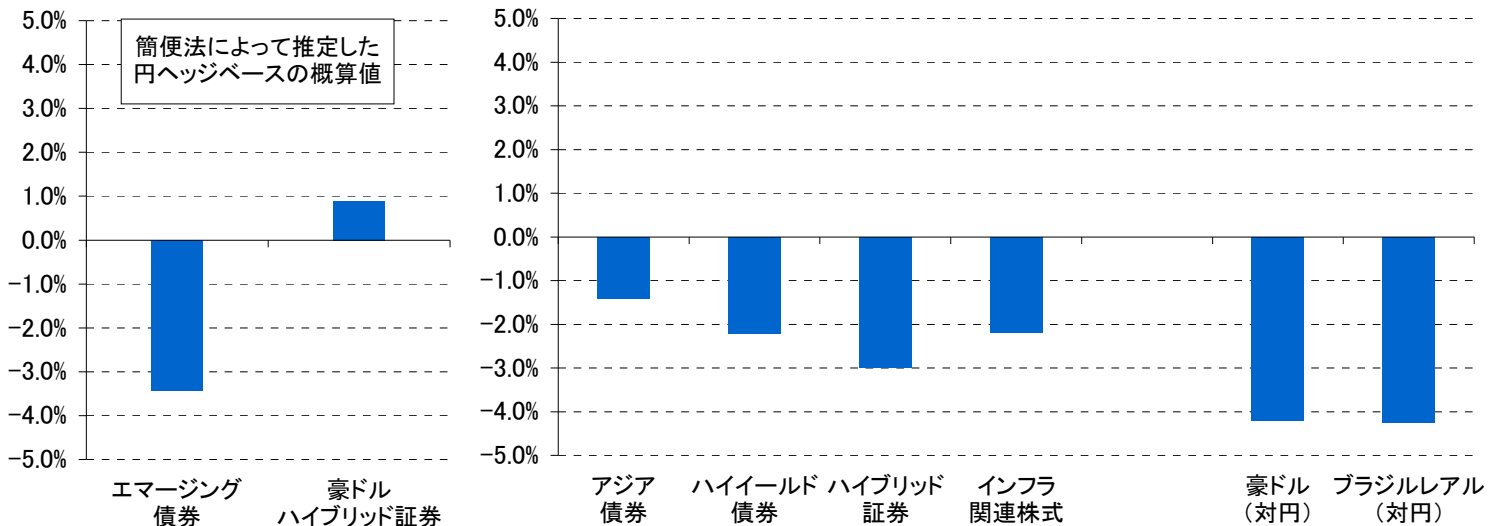
※当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。  
※当資料に掲載した図、表、数値、コメント等はすべて過去のものであり、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。  
※当資料は信頼できる情報に基づき作成していますが、その内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。※投資信託は、リスクを含む商品(外貨建資産に投資する場合は為替リスクもあります。)であり、元本の保証はありません。※取得申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)等の書面をあらかじめまたは同時にお渡しますので、必ずお受け取りになり、詳細をよくお読みいただいたうえ、投資に関してご自身でご判断ください。

2011年11月30日現在

《ご参考》シンコウ・グローバル・ハイインカム・ファンド・インデックスの構成ファンドのパフォーマンス

下記のグラフおよびデータはすべて過去のものであり、将来の動向や各コースの運用成果を示唆・保証するものではありません。

1か月のパフォーマンス(円ヘッジベース、概算)(2011年10月27日～2011年11月28日)



- 上記のパフォーマンス(円ヘッジベース)は、実際に円ヘッジクラスが存在するファンドに関しては、円ヘッジクラスのパフォーマンスを表記していますが、円ヘッジされたクラスがないエマージング債券および豪ドルハイブリッド証券については、当該ファンドの円ベースのパフォーマンスから、その主要構成通貨の変動率を差し引いた簡便法で計算しています。(ヘッジコスト等は勘案しておりません。)また、複数の通貨でポートフォリオが構成されるエマージング債券については投資している債券のすべてを米ドルと仮定して、期間中の米ドル(対円)の為替変動率を差し引いた簡便法で推定したものであるため、実際に、円ヘッジした場合とパフォーマンスが大きく異なる場合があります。
- 簡便法より推定したパフォーマンスは、あくまで動向を知るための目安としてお考えください。
- 上記に記載している為替レートの変動率と指数を構成する外国籍ファンドの評価に使用されている為替レートが異なる場合があります。

出所:ブルームバーグ等のデータを基に新光投信が作成

<インデックスを構成する外国籍ファンド>

- エマージング債券 : フランクリン・テンプレートン・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンド
- 豪ドルハイブリッド証券 : GSオーストラリア・エンハンスト・インカム・ファンドII
- アジア債券 : ユナイテッド・アジア・ボンド・マルチカレンシー・ファンド
- ハイイールド債券 : グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクション
- ハイブリッド証券 : GSグローバル・サブオーディネイテッド・デット・セキュリティーズ・FX・サブ・トラスト
- インフラ関連株式 : シンコウ・グローバル・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド

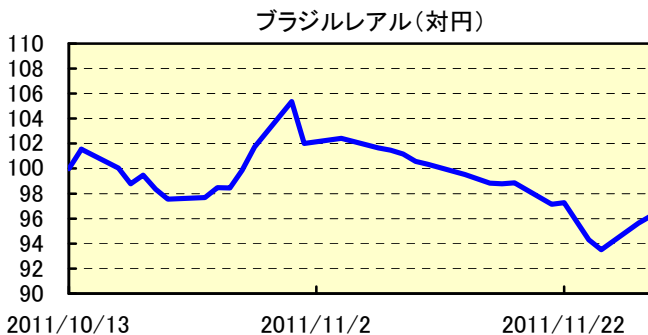
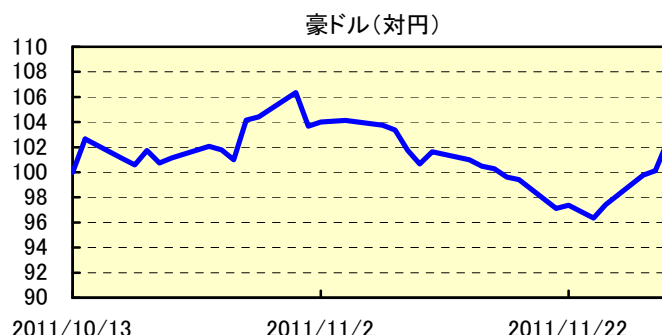
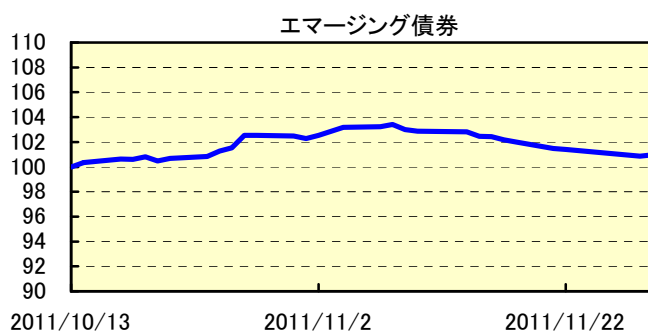
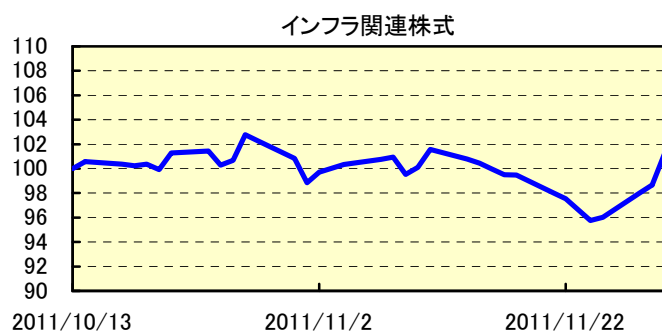
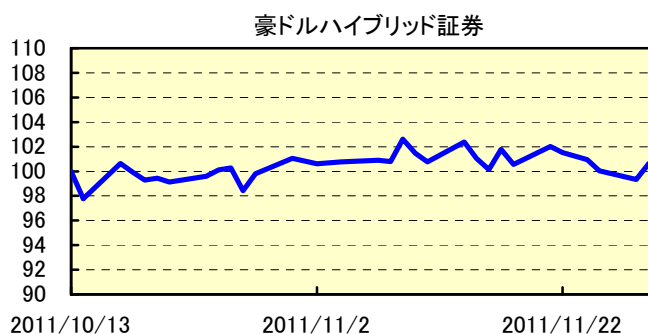
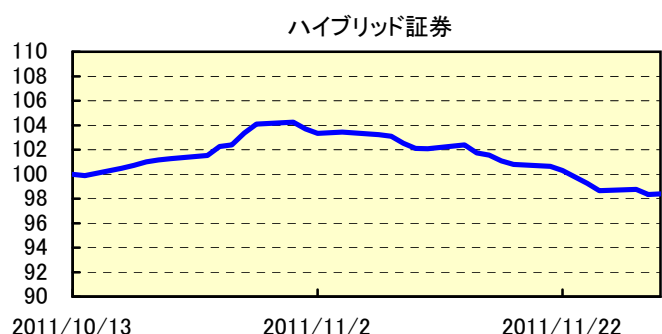
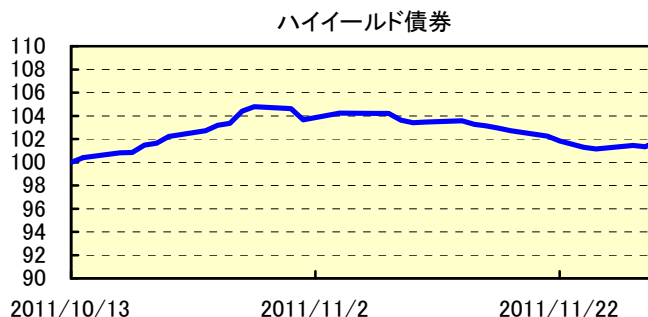
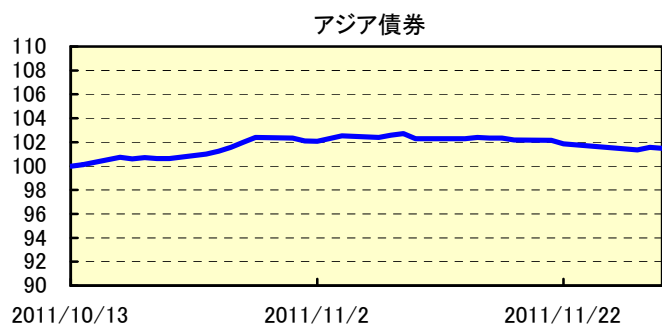
※当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。  
 ※当資料に掲載した図、表、数値、コメント等はすべて過去のものであり、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。  
 ※当資料は信頼できる情報に基づき作成していますが、その内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。 ※投資信託は、リスクを含む商品(外貨建資産に投資する場合は為替リスクもあります。)であり、元本の保証はありません。 ※取得申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)等の書面をあらかじめまたは同時にお渡しますので、必ずお受け取りになり、詳細をよくお読みいただいたうえ、投資に関してご自身でご判断ください。

下記のグラフおよびデータはすべて過去のものであり、表示している投資市場、通貨および各コースの将来の値動きを示唆・保証するものではありません。また、表示している各データは変更になる場合があります。

2011年11月30日現在

設定来の参考指標等(現地通貨ベース)と為替の推移

(2011年10月13日を100として指数化)



出所:ブルームバーグ、各公表機関等のホームページデータを基に新光投信が作成  
上記のグラフは以下の指数および外国籍ファンドの為替要因を除いた現地通貨ベースでのパフォーマンスです。ただし、現地通貨ベースの指数がないものに関しては新光投信が投資対象資産の為替変動率を差し引いて計算した概算値です。

アジア債券:JPモルガン・アジア・クレジット・インデックス、ハイイールド債券:BofAメリルリンチ・グローバル・ハイイールド・コンストレインド・インデックス、エマージング債券:JPモルガン エマージング マーケッツ ボンド インデックス グローバル ダイバーシファイド、ハイブリッド証券:パークレイズ・キャピタル・グローバル優先証券インデックス、インフラ関連株式:MSCIワールド・インフラストラクチャー・インデックス(配当込み)、豪ドルハイブリッド証券:GSオーストラリア・エンハンスト・インカム・ファンドII

※当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。  
※当資料に掲載した図、表、数値、コメント等はすべて過去のものであり、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。  
※当資料は信頼できる情報に基づき作成していますが、その内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。  
※投資信託は、リスクを含む商品(外貨建資産に投資する場合は為替リスクもあります。)であり、元本の保証はありません。  
※取得申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)等の書面をあらかじめまたは同時にお渡しますので、必ずお受け取りになり、詳細をよくお読みいただいたうえで、投資に関してご自身でご判断ください。

(ご参考)シンコウ・グローバル・ハイインカム・ファンド・インデックス構成ファンドのポートフォリオ状況

ユナイテッド・アジア・ボンド・  
マルチカレンシー・ファンド

デュレーション(年)	5.6
最終利回り(%)	6.5
平均残存年数	7.7
平均格付け	A-

グローバル・ハイイールド・ボンド・  
ファンド・カレンシー・セレクション

デュレーション(年)	4.5
最終利回り(%)	8.8
平均残存年数	7.2
平均格付け	B~BB

GSグローバル・サブオーディネイテッド・  
デット・セキュリティーズ・FX・サブ・トラスト

デュレーション(年)	4.3
最終利回り(%)	14.4
平均残存年数	5.9
平均格付け	A

GSオーストラリア・エンハンスト・  
インカム・ファンドⅡ

デュレーション(年)	-0.1
最終利回り(%)	10.6
平均残存年数	3.2
平均格付け	BBB+

シンコウ・グローバル・  
インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド

税控除前の配当利回り(%) (年換算)	6.0
------------------------	-----

フランクリン・テンプレートン・フロンティア・  
エマージング・マーケッツ・デット・ファンド

デュレーション(年)	3.6
最終利回り(%)	8.7
平均残存年数	5.9
平均格付け	BB

●各外国籍ファンドのポートフォリオ状況は、キャッシュ等部分を除いた有価証券等内容を、その組入比率で加重平均したものです。表中の数値は、小数第2位を四捨五入しています。●上記は、原則として、外国籍ファンドの各運用会社からの情報に基づいて記載しています。よって、平均格付けは算出方法が運用会社によって異なる場合があります。●「グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクション」の平均格付けはジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーのデータを基に新光投信が計算したものです。●デュレーションは、金利の変化に対する債券価格の感応度を意味し、絶対値が大きい場合は債券価格の感応度が大きくなります。デュレーションの正の値の場合、金利低下時に債券価格が上昇することを意味し、逆に、デュレーションが負の値をとる場合は、金利低下時に債券価格が下落することを意味します。●「GSグローバル・サブオーディネイテッド・デット・セキュリティーズ・FX・サブ・トラスト」および「GSオーストラリア・エンハンスト・インカム・ファンドⅡ」の「デュレーション」、「最終利回り」、「平均残存年数」は、繰上償還(コールといいます。)条項が付与されている銘柄は直近の繰上償還予定日、それ以外は償還日を使用して計算しています。

上記の各数値はシンコウ・グローバル・ハイインカム・ファンド・インデックスを構成する外国籍ファンドの実績であり、将来または現在における各コースの運用成果や運用利回りなどを示唆あるいは保証するものではありません。

※当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。※当資料に掲載した図、表、数値、コメント等はすべて過去のものであり、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。※当資料は信頼できる情報に基づき作成していますが、その内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。※投資信託は、リスクを含む商品(外貨建資産に投資する場合は為替リスクもあります。)であり、元本の保証はありません。※取得申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)等の書面をあらかじめまたは同時にお渡しますので、必ずお受け取りになり、詳細をよくお読みいただいたうえ、投資に関してご自身でご判断ください。

## 無登録格付に関する説明書

(「スタンダード&プアーズ・レーティングズ・サービス」についてはこちらをご覧ください。)

格付会社に対しては、市場の公正性・透明性の確保の観点から、金融商品取引法に基づく信用格付業者の登録制が導入されております。

これに伴い、金融商品取引業者等は、無登録格付業者が付与した格付を利用して勧誘を行う場合には、金融商品取引法により、無登録格付である旨及び登録の意義等を顧客に告げなければならないこととされております。

### ○登録の意義について

登録を受けた信用格付業者は、①誠実義務、②利益相反防止・格付プロセスの公正性確保等の業務管理体制の整備義務、③格付対象の証券を保有している場合の格付付与の禁止、④格付方針等の作成及び公表・説明書類の公衆縦覧等の情報開示義務等の規制を受けるとともに、報告徴求・立入検査、業務改善命令等の金融庁の監督を受けることとなりますが、無登録格付業者は、これらの規制・監督を受けておりません。

### ○格付会社グループの呼称等について

格付会社グループの呼称：スタンダード&プアーズ・レーティングズ・サービス（以下「S&P」と称します。）

グループ内の信用格付業者の名称及び登録番号：スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン株式会社（金融庁長官（格付）第5号）

### ○信用格付を付与するために用いる方針及び方法の概要に関する情報の入手方法について

スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン株式会社のホームページ（<http://www.standardandpoors.co.jp>）の「ライブラリ・規制関連」の「無登録格付け情報」（<http://www.standardandpoors.co.jp/unregistered>）に掲載されております。

### ○信用格付の前提、意義及び限界について

S&Pの信用格付は、発行体または特定の債務の将来の信用力に関する現時点における意見であり、利息や元本が予定通り支払われることを保証するものではありません。また、信用格付は、証券の購入、売却または保有を推奨するものでなく、債務の市場流動性や流通市場での価格を示すものでもありません。

信用格付は、業績や外部環境の変化、裏付け資産のパフォーマンスやカウンターパーティの信用力変化など、さまざまな要因により変動する可能性があります。

S&Pは、品質および量により信頼すると判断した情報を利用して格付分析を行っております。しかしながら、S&Pは、提供された情報について、監査・デュー・デリジェンスまたは独自の検証を行っておらず、また、格付および格付付与に利用した情報の正確性、完全性、適時性を保証するものではありません。

この情報は、2011年11月30日に信頼できると考えられる情報源から作成しておりますがその正確性・完全性を当社が保証するものではありません。詳しくは上記スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン株式会社のホームページをご覧ください。

※当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。  
※当資料に掲載した図、表、数値、コメント等はすべて過去のものであり、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。  
※当資料は信頼できる情報に基づき作成していますが、その内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。 ※投資信託は、リスクを含む商品(外貨建資産に投資する場合は為替リスクもあります。)であり、元本の保証はありません。 ※取得申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)等の書面をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、詳細をよくお読みいただいたうえ、投資に関してご自身でご判断ください。

## 無登録格付に関する説明書

(「ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク」についてはこちらをご覧ください。)

格付会社に対しては、市場の公正性・透明性の確保の観点から、金融商品取引法に基づく信用格付業者の登録制が導入されております。

これに伴い、金融商品取引業者等は、無登録格付業者が付与した格付を利用して勧誘を行う場合には、金融商品取引法により、無登録格付である旨及び登録の意義等を顧客に告げなければならないこととされております。

### ○登録の意義について

登録を受けた信用格付業者は、①誠実義務、②利益相反防止・格付プロセスの公正性確保等の業務管理体制の整備義務、③格付対象の証券を保有している場合の格付付与の禁止、④格付方針等の作成及び公表・説明書類の公衆縦覧等の情報開示義務等の規制を受けるとともに、報告徴求・立入検査、業務改善命令等の金融庁の監督を受けるとなりますが、無登録格付業者は、これらの規制・監督を受けておりません。

### ○格付会社グループの呼称等について

格付会社グループの呼称：ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク（以下「ムーディーズ」と称します。）

グループ内の信用格付業者の名称及び登録番号：ムーディーズ・ジャパン株式会社（金融庁長官（格付）第2号）

### ○信用格付を付与するために用いる方針及び方法の概要に関する情報の入手方法について

ムーディーズ・ジャパン株式会社のホームページ（ムーディーズ日本語ホームページ（<http://www.moodys.co.jp>）の「信用格付事業」をクリックした後に表示されるページ）にある「無登録業者の格付の利用」欄の「無登録格付説明関連」に掲載されております。

### ○信用格付の前提、意義及び限界について

ムーディーズの信用格付は、事業体、与信契約、債務又は債務類似証券の将来の相対的信用リスクについての、現時点の意見です。ムーディーズは、信用リスクを、事業体が契約上・財務上の義務を期日に履行できないリスク及びデフォルト事由が発生した場合に見込まれるあらゆる種類の財産的損失と定義しています。信用格付は、流動性リスク、市場リスク、価格変動性及びその他のリスクについて言及するものではありません。また、信用格付は、投資又は財務に関する助言を構成するものではなく、特定の証券の購入、売却、又は保有を推奨するものではありません。ムーディーズは、いかなる形式又は方法によっても、これらの格付若しくはその他の意見又は情報の正確性、適時性、完全性、商品性及び特定の目的への適合性について、明示的、黙示的を問わず、いかなる保証も行っておりません。

ムーディーズは、信用格付に関する信用評価を、発行体から取得した情報、公表情報を基礎として行っております。ムーディーズは、これらの情報が十分な品質を有し、またその情報源がムーディーズにとって信頼できると考えられるものであることを確保するため、全ての必要な措置を講じています。しかし、ムーディーズは監査を行う者ではなく、格付の過程で受領した情報の正確性及び有効性について常に独自の検証を行うことはできません。

この情報は、2011年11月30日に信頼できると考えられる情報源から作成しておりますがその正確性・完全性を当社が保証するものではありません。詳しくは上記ムーディーズ・ジャパン株式会社のホームページをご覧ください。

※当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。  
※当資料に掲載した図、表、数値、コメント等はすべて過去のものであり、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。  
※当資料は信頼できる情報に基づき作成していますが、その内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。※投資信託は、リスクを含む商品(外貨建資産に投資する場合は為替リスクもあります。)であり、元本の保証はありません。※取得申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)等の書面をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、詳細をよくお読みいただいたうえ、投資に関してご自身でご判断ください。

## 新光ハイインカム・ポートフォリオ・ファンド(毎月決算/目標払出し型)

設定・運用は新光投信

【フリーダイヤル】0120-104-694  
http://www.shinkotoushin.co.jp/

- 新光ハイインカム・ポートフォリオ・ファンド(毎月決算/目標払出し型)各コースは、複数の外国籍投資信託証券による世界の証券市場での運用成果と所定の為替取引の組み合わせで得られる投資収益を反映して価格が変動する仕組みの債券に主として投資します。組み入れた債券の値動きに反映される複数の外国籍投資信託証券の価格変動や信用状況の変化、各コースの対象通貨の為替相場の変動などの影響により基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込み、損失を被ることがあります。したがって各コースは元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益は受益者のみなさまに帰属します。
- 各コースでは、実質的に投資元本の払い戻しにより、投資成果にかかわらず定期的な分配実施を可能としています。したがって、投資収益が十分に得られていない場合や投資損失がある場合には、分配金の大部分あるいはすべてが実質的に受益者のみなさまの投資元本から払い戻されることとなります。投資信託への投資で得られる収益や損失は基準価額に日々反映されており、受益者のみなさまが分配金を受け取った場合は当該額だけ保有する投資信託の基準価額は下落します。
- 購入のお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しますので、必ずお受け取りになり、詳細をよくお読みいただき、投資に関してはご自身でご判断ください。また、あらかじめ交付される契約締結前交付書面など(目論見書補完書面を含む)の内容をよくお読みください。

## ファンドの特色

1. シンコウ・グローバル・ハイインカム・ファンド・インデックス\*(以下「参照指数」といいます。)の変動率に基づき価格が変動する仕組みの債券(以下「指数連動債」といいます。)への投資を通じ、世界の証券市場に投資する複数の外国籍ファンドの運用成果と所定の為替取引で得られるプレミアム(コストとなる場合もあります。)の獲得を目指します。

\*世界の証券市場に投資してインカム・ゲインの獲得を目指す複数の外国籍ファンドと豪ドルまたはブラジルレアルを買い予約する為替取引の総合収益を反映する指数(円建て)です。新光投信がインデックス・スポンサーとして指数を構成する外国籍ファンドとその比率を決定し、UBS銀行ロンドン支店が指数の算出・公表を行います。

2. 為替取引の対象通貨別に豪ドルコースとブラジルレアルコースがあります。それぞれの通貨コースでは、目標払出し額(分配金)の更新期間に応じて6ヵ月更新コース、1年更新コースおよび2年更新コースの3つのコースからお選びいただけます。

豪ドル・6ヵ月更新コース	豪ドル・1年更新コース	豪ドル・2年更新コース
ブラジルレアル・6ヵ月更新コース	ブラジルレアル・1年更新コース	ブラジルレアル・2年更新コース

\*投資対象とする指数連動債は、豪ドル・6ヵ月更新コース、同1年更新コース、同2年更新コースがそれぞれシンコウ・グローバル・ハイインカム・ファンド・インデックス(豪ドル)連動債A、B、C、ブラジルレアル・6ヵ月更新コース、同1年更新コース、同2年更新コースがそれぞれシンコウ・グローバル・ハイインカム・ファンド・インデックス(ブラジルレアル)連動債A、B、Cとなります。

◆信託期間は、2017年10月6日までです。

◆2012年3月30日までご購入いただけます。また、いつでもご換金が可能です。

\*ご購入またはご換金のお申し込みの受付ができない営業日がありますのでご注意ください。

3. 原則として、毎月7日(休業日の場合は翌営業日。)の決算時に、収益の分配を行います。分配を通じて投資信託財産の一部を毎月払い出します。分配金は、参照指数の投資収益に基づくものではなく、定期的に各指数連動債において所定の率を債券価格に乗じて更新される指数連動債の利金に基づく額を目標とします。したがって、分配金の一部または全部が実質的に投資元本の払い戻しにより充当されることがあります。

◇運用状況により分配金額は変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

## [収益分配金に関する留意事項]

- ◎投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- ◎分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ◎お客さまのファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。

各コースの資金動向、市況動向などによっては、また、やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

○投資信託は、預貯金・金融債ではありません。また元本の保証はありません。○投資信託は、預金保険制度の対象ではありません。○投資信託は、保険契約者保護制度の対象ではありません。○登録金融機関は、投資者保護基金には加入していません。○投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。○当資料は新光投信が作成した販売用資料です。信頼できると考えられるデータなどにに基づき作成していますが、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。予告なく当資料の内容を変更する場合があります。

## ファンドの主な投資リスク

各コースは主として所定の複数の外国籍投資信託証券の投資成果および為替取引によって得られる投資収益を反映する指数の変動率に基づき価格が変動する仕組みの債券に投資を行います。当該指数連動債は主として、次のような性質があり、各コースの基準価額を変動させる要因となるため、各コースへの投資により損失を被る可能性があります。したがって、受益者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金とは異なります。

### ●金利変動リスク

公社債の価格は、金利水準の変化にともない変動します。一般に、金利が上昇した場合には公社債の価格は下落し、各コースの基準価額が下落する可能性があります。

### ●為替変動リスク

外貨建資産は、為替相場の変動により円換算価格が変動します。一般に、保有外貨建資産が現地通貨ベースで値上がりした場合でも、投資先の通貨に対して円高となった場合には、当該外貨建資産の円換算価格が下落し、各コースの基準価額が下落する可能性があります。

各コースが組み入れる指数連動債では原則として、各コースの対象通貨を買い予約する為替取引の損益が反映されるため、各コースの基準価額は実質的に当該対象通貨の為替変動の影響を受けます。ただし、指数連動債が参照する指数の構成資産の通貨の影響を受ける場合があります。対象通貨が新興国通貨の場合には、為替変動リスクが相対的に高くなる可能性があります。各コースの対象通貨の金利が指数連動債が参照している実質的な投資対象資産の発行通貨の金利よりも低い場合には、その金利差相当分のコストがかかります。

### ●株価変動リスク

株式の価格は、国内外の政治・経済・社会情勢の変化、金利動向、発行企業の業績・経営状況の変化、市場の需給関係などの影響を受け変動します。一般に、株価が下落した場合にはその影響を受け、各コースの基準価額が下落する可能性があります。

### ●信用リスク

公社債などの信用力の低下や格付けの引き下げ、債務不履行が生じた場合には、当該公社債などの価格は下落します。これらの影響を受け、各コースの基準価額が下落する可能性があります。投機的格付けが付与されているハイールド債券や当該格付けが付与されている国が多い新興国の債券は、投資適格の債券に比べ前述のリスクは高くなります。

また、各コースは、UBS銀行ロンドン支店の発行する指数連動債を高位に組み入れる運用を行いますので、UBS銀行の信用力が業績悪化・経営不振などにより著しく低下した場合、あるいは倒産した場合には、各コースの基準価額が下落するだけでなく、各コースの運用を停止して繰上償還する、あるいは各コースが長期間にわたり換金できなくなるなどの可能性があります。

### ●流動性リスク

有価証券などを売買する際、当該有価証券などの市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合には、希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができない可能性があります。特に流動性の低い有価証券などを売却する場合にはその影響を受け、各コースの基準価額が下落する可能性があります。また、各コースが組み入れる指数連動債は、当該指数連動債の値付業者が取引の相手方となる形式により流動性の確保を図りますが、参照する指数を構成する投資信託証券などの取引停止や、UBS銀行の信用力が著しく低下した場合などには、当該指数連動債の流動性が著しく低下する可能性があり、その影響により、各コースの基準価額が下落する可能性があります。

### ●カントリーリスク

投資対象国・地域の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制などの要因によって資産価格や通貨価値が大きく変動する場合があります。これらの影響を受け、各コースの基準価額が下落する可能性があります。

一般に新興国市場は、先進国市場に比べて規模が小さく、流動性も低く、金融インフラが未発達であり、様々な地政学的問題を抱えていることから、カントリーリスクはより大きくなる可能性があります。

### ●ハイブリッド証券(劣後債および優先証券など)への投資に伴う固有のリスク

ハイブリッド証券(劣後債および優先証券など)への投資には、普通社債への投資と比較して、次のような固有のリスクがあり、価格変動リスクや信用リスクは相対的に大きいものとなります。

#### ①劣後リスク(法的弁済順位が劣後するリスク)

一般にハイブリッド証券の法的な弁済順位は株式に優先し、普通社債より劣後します。したがって、発行体が破綻などに陥った場合、他の優先する債権が全額支払われない限り、元利金の支払いを受けることができません(法的弁済順位の劣後)。またハイブリッド証券は一般に普通社債と比較して低い格付けが格付会社により付与されていますが、その格付けがさらに下落する場合には、ハイブリッド証券の価格が大きく下落する可能性があります。

#### ②繰上償還延期リスク

一般にハイブリッド証券には、繰上償還(「コール」と呼ぶことがあります。)条項が付与されています。繰上償還日に償還されることを前提として取引されている証券は、市場環境などの要因によって、予定された期日に繰上償還が実施されなかった場合、あるいは繰上償還されないと見込まれる場合には、当該証券の価格が大きく下落する可能性があります。

#### ③私払い繰延リスク

ハイブリッド証券には、利息または配当の支払繰延条項を有する証券があります。これらの証券においては、発行体の財務状況や収益動向などの要因によって、利息または配当の支払いが繰り延べまたは停止される可能性があります。

※基準価額の変動要因(投資リスク)は、上記に限定されるものではありません。

新光ハイインカム・ポートフォリオ・ファンド(毎月決算/目標払出し型)

設定・運用は新光投信

【フリーダイヤル】0120-104-694  
http://www.shinkotoushin.co.jp/

お申込みメモ

商品分類	追加型投信/内外/資産複合
購入単位	(当初元本1口=1円) 購入単位は販売会社またはお申込コースにより異なります。詳しくは販売会社または新光投信にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日から起算して4営業日目の基準価額
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日から起算して4営業日目の基準価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して8営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として営業日の午後3時までとし、当該締切時間を過ぎた場合の申込受付日は翌営業日となります。 ※申込締切時間は販売会社によって異なる場合があります。
購入の申込期間	2011年10月7日から2012年3月30日まで
換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金の非受付日	以下に定める日には、購入・換金のお申し込みの受付を行いません。 ・申込日当日または翌営業日がロンドンの銀行の休業日となる日 ・参照指数を構成する投資信託証券の休業日および投資信託財産の円滑運営の観点から委託会社が別途指定する日 ただし、ブラジルレアルの各コースでは、以下に定める日についても、購入・換金のお申し込みの受付を行いません。 ・申込日の翌営業日がサンパウロの銀行の休業日となる日
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申し込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申し込みを取り消す場合があります。
信託期間	2017年10月6日まで(2011年10月7日設定)
繰上償還	受益権の総口数が30億口を下回ることとなった場合などには、繰上償還することがあります。また、委託会社の判断により保有債券(指数連動債)をすべて売却した場合には、各コースを繰上償還します。
決算日	毎月7日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	原則として、年12回の決算時に、収益分配方針に基づいて収益の分配(実質的に投資元本の払い戻しとなる分配を含みます。)を行います。
課税関係	収益分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して所定の税率により課税されます。 各コースは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。 ※税法が改正された場合などには、課税上の取り扱いが変更になる場合があります。

ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用	
購入時	購入時手数料 <b>3.99%(税込)</b> を上限として、販売会社がそれぞれ独自に定める手数料率を購入申込受付日から起算して4営業日目の基準価額に乗じて得た額となります。詳しくは販売会社または新光投信にお問い合わせください。
換金時	信託財産留保額 <b>ありません。</b>
お客さまが信託財産で間接的に負担する費用	
保有期間中	運用管理費用(信託報酬) 各コースで直接的または間接的に支払う実質的な信託報酬の総額は、日々の投資信託財産の純資産総額に対して最大で <b>年率1.945%程度(税込)</b> となります。 ・各コース:年率1.2915%(税込) ・参照指数を構成する各投資信託証券:年率0.39%~0.61%程度(概算) ・指数手数料:年率0.08% 実質的な信託報酬の総額は、参照指数における1投資信託証券当たりの構成比率制限を基に算出した数値です。実際の運用管理費用(信託報酬)は、参照指数を構成する投資信託証券の比率によって変動します。ただし、参照指数を構成する投資信託証券の信託報酬には取引頻度に応じた額や最低支払額が設定されているものがあるため、当該投資信託証券における取引頻度や資産規模などにより、実質的な信託報酬の総額は上記料率を上回る場合があります。また、参照指数を構成する投資信託証券は今後、変更されることがあり、その場合は実質的な信託報酬の総額も変更される可能性があります。
	その他の費用・手数料 上記以外に各コースの監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、資産の保管などに要する費用を、その都度、投資信託財産が負担します。また参照指数を構成する各投資信託証券においても有価証券売買時の売買手数料、弁護士費用、保管受託銀行への報酬および当初設定にかかる諸費用などがかかる場合があります。 「その他の費用・手数料」については、定時に見直されるものや売買条件などに応じて異なるものがあるため、当該費用および合計額などを表示することができません。

◎手数料などの合計額については、購入金額や保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

◎詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)、運用報告書などでご確認ください。

委託会社、その他の関係法人

- 委託会社: 新光投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第339号  
加入協会: 社団法人投資信託協会、社団法人日本証券投資顧問業協会  
ファンドの運用の指図などを行います。
- 受託会社: みずほ信託銀行株式会社 ファンドの財産の保管および管理などを行います。
- 販売会社: みずほ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号  
加入協会: 日本証券業協会、社団法人日本証券投資顧問業協会、社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
募集・販売の取り扱い、投資信託説明書(目論見書)などの書面の交付、換金申込の受付ならびに収益分配金・換金代金・償還金の支払いなどを行います。